明治四十一年六月廿五日發行
每月一回二十五日發行

婦人新報

第百三十四號

日本基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百三十四號

目次

大會期日、執行順序

社說

汝吾が爲めに何をせしや

青年キリスト教婦人矯風會　ストラウト女史

臺灣土產　林歌子女史

夏の夕　百合子

和洋料理　無名子

青年部欄

東京聯合親睦會

部長の談話

ミスツエルの談話

婦人矯風會通信

本部、麴町、前橋、大阪、堺、神戸、京都、横濱、盛岡、呉、名古屋、羅府、王府、

社告

廣告

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)

一部(前金)　金六錢

六部(前金)　金三十五錢

十二部(前金)　金七十錢

(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢

明治四十一年六月廿四日印刷

明治四十一年六月廿五日發行

發行兼印刷人　本多テイ

編輯人　小崎チヨ

發行所　婦人新報社　東京府豐多摩郡澁谷村元青山南町七丁目一番地

編輯事務所及　本鄉駒込蓬萊町六番地

No. 134.　　JUNE 1908.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

"What have you done for me, Christ?"

The Young Woman Christian Temprance Union.

The Condition of Formosa.

The Summer evening.

Cooking.

W. C. T. U. NEWS.

Headquarters, Nagoya, Maibashi, Los Angeles, Osaka, Kyoto, Kobe, Kure, Kojimachi, Sakai, Yokohama, Oakland.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 6, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70sen per Annum.　Single Copy 6sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大會期日幷に會場

四十年度日本キリスト教婦人矯風會大會は來る七月廿一日午前九時より廿三日夜迄大阪市ウェルミス女學校內に於て執行致し申候各支部にては出來得る限り多數の代表者を御派遣なし被下度此段願上候也

追て義務金並に大會費（一人三錢以上）は至急東京市赤坂區靈南坂町小崎千代子まで御送附奉願候也（赤坂區溜池郵便局當）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本部役員

會頭
副會頭
通信書記
記録書記
會計

矢島楫子
本多貞子
横倉秀子
井深花子
小崎千代子

東京市麹町區上二番町三十三
同 赤坂區青山學院構内
同 本郷區蓬萊町六番地
同 芝區白金明治學院構内
同 赤坂區靈南坂町十四番地

本部部課長

青年部
少年課
衛生課
遺傳課
安息日課
文書課
議事法研究課
禁煙課
傳道課
軍人課
安息日課
動物優待課
風俗課
副同課
母之課
救濟課
交際課
花之課
法律課
工女課
婦人新報記者
敎育課長

ガンドレット恒子
高橋米子
大關和子
井上友子
岡部直子
戸板せき子
ミスブラックモール
根本德子
草間道子
清水富貴子
富水延子
大内あさ子
武田淑子
岩本玉子
栗谷榮子
渡瀬かめ子
島田信子
矢島民子
城戸順子
矢島楫子
白井壽女子
横倉秀子
渡邊つね子

山口縣山口市中河原
岩手縣一ノ關廣小路六十七
東京市神田錦町三ノ一
同 麹町區上二番町三十八
上州富岡市
東京市芝三田四國町
同 麻布鳥居坂町東洋英和女學校
同 芝區三田四國町十五
同 青山女學院
相州鎌倉福音館内
東京市牛込區矢來町三中ノ九六號
同 芝區三田フレンド女學校
京都市同志社敎師館内
金澤市本多町英和幼稚園
府下淀橋町
東京市赤阪區溜池二
同 麹町區中六番町
同 芝區西久保巴町
横濱市山手二百十二共立小學校
東京市麹町區上二ノ三十三
同 芝區三田四國町二ノ一號
神戸市山本通り五ノ五十五

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第十六回大會執行順序

廿一日午前九時開會

祈禱會（午前九時より九時半まで）

開會式（午前九時より十一時まで）

○讚美

○聖書朗讀、祈禱

▲役員、課長、支部長點呼（記錄書記　井深花子）

▲常置員會報告（井深花子）

▲執行委員選定（會頭指名）

○會頭演説　過去一年

○報告

廿一日午後一時半開會

○奏樂

○聖書朗讀、祈禱

○獨唱

○歡迎の辭

大阪市各團體代表者

○音樂

○答辭（本部役員）

○音樂

○祈禱

○懇談

廿一日午後七時開會

○讚美

○聖書朗讀、祈禱

○代員證明書朗讀（横倉秀子）

○前日記錄朗讀

○報告

▲本邦通信書記報告（九時半より、横倉秀子）

▲本部會計報告（十時より、小崎千代子）

▲會場會計報告

▲青年課及少年課報告（ガントレット恒子、高橋米子）

▲婦人新報報告（横倉秀子）

▲萬國基督教婦人矯風會代表者報告（ミストラリット）

○正午の祈禱

○報告

廿二日午後七時開會

○讚美、祈禱

○前日記錄朗讀

○本部課長報告

▲無酵課

▲日曜學校課

▲風俗課

▲母の會課

▲交際課

▲教育課

▲文書課

▲議事法研究課

▲花の課

▲傳道課

▲工女課

▲軍人課

▲禁酒課

▲救濟課

▲幼兒課

▲遺傳課

▲安息日課

▲動物優待課

▲法律課

▲衛生課

▲懸賞文學課

○音樂

○代員及來賓紹介　四時三十分

○祈禱

○報告

廿二日午前九時開會

○懸賞文學會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○讃美
○聖書朗讀、祈禱
○演説　ミス、ストラウト
○特別委員報告
　△時事問題委員報告（横倉秀子）
　△財政委員報告（小崎千代子東京）
○代員證明書調査委員報告（横倉秀子）
○本部役員選擧
○萬國婦人矯風會出席代員選擧
○正午の祈禱

廿二日午後一時半開會

廿三日午前九時開會

○祈禱會
○音樂
○聖書朗讀
○前日記錄朗讀
○禁酒演説（實見的）
○青年婦人矯風會（三時十五分より）ガントレット恒子
○追悼會
○本部役員會

會場（大阪市中ノ島公會堂）

廿三日午後一時半開會

○音樂
○聖書朗讀、祈禱
○公開演説
　△辯士　石橋代議士　服部綾雄氏
○音樂
○賞旗授與
○會員募集
○祈禱

廿三日午後七時開會

○讃美
○聖書朗讀、祈禱
○課長指命披露
○婦人新報購讀者募集委員報告
○新入會員募集委員報告
○特別事業報告
○殘務（明年度大會々場）　各支部長
○書記最終の報告
○告別の辭　矢島楫
○會場記錄朗讀
○讃美、主の祈

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百三十四號

（明治四十一年六月廿五日）

論説

汝吾が爲めに何を爲せしや

之は絶えず私共の心の奥の〳〵に聞ゆる聲ではなからうか紫の着物を着棘の冕を冠る勇氣は今日のキリスト信徒にあるであらうか物質的の世に生活いたして居ります私共ですからその物質の爲めに心を遣ひませうし身躰も動かしませうまた時と場合によつては隨分その爲めには一方ならぬ苦勞もいたしませうが今の人々は余りにその爲めに身神を用ゐては居るまいか人はパンのみにて生くるものでなければ私共はそのパンをあさる爲めの奴隷になつては居るまいか物質以外に私共の慰樂がないと思つたらば嘸ぞ私共は心細くて堪まりますまゐ處が今日私共がいたして居りまする事の大半は物質的の滿足を得んが爲めに勞して居るので自分は既に其の爐中の型となりかゝつてあるから少しも分らないのであります世の中に何がみぢめであらうと申して自分の立場を明かに自分が知らないほど憫然なものはありますまい自分がなしつゝある事は善いやうに思はれても他人から見ると隨分間違たらけ人が時々親切に話して被下ても少も察せられない思想行爲の善惡の原因に遡つて研究いたしませんから畢竟自分のなす事には盲目である物質上の繁榮にのみ勞して居る一般の人がまた凡て我利から割出してされるから尚ほ〳〵弊害が起つてくる政事家も教育家も善慈家も宗教家も我利〳〵主義之れで何んぞ大きな仕事が出來やう教會の不振もキリスト教徒の各團躰の發展せざるも皆主よ我に何をなさせんと思ひ給ふやとのポーロの覺悟が乏しい事に基因するではなからうか神聖であるべき神の宮殿のうちに兩替屋や商買人が相互に私利を營むで居て如何してキリストの聖旨をはたす事が出來ませうお互に枝たり花たり種實

たるキリストの各團躰が反目して各自會の膨張のみを計つて他に對する同情を欠い居て如何して實のある働が上りませう　私には時々思ひますキリストを戴ける各團躰の數が日本にも随分多くありまして各々活動の方面を異にいたして居りますが之がまた怪しい事には團躰の感情までも異にして居ります組織や規則や活動の手段が異つて居ても最後の目的は彼我共に人類の幸福を計り神國の建設を計るのであります其方法に於ては人各々意見があります甲の主張は乙の取らざる處てあつても最後の目的に達すればよいのである然らばお互に提携して盛に戟を揃へて世の惡魔と戰ふべきてあると思ひますさるを事數々私共の解する能はざるものがあります自分の働くのは自各の名譽でもない會の榮でもない實にキリストの聖旨を成就するが爲であると云ふ決心があれば他の團躰の擴張に容喙いたす事も入らないしまた批評いたす事も御座いません今キリストが敎會のうちに立つて爾我が爲めに何を爲せしやと仰せられたらば敎會の牧師信徒は何と答ふるてありませう其團躰に仰せられたら吾等は斯々の働をなせりと答ふる確信がありませうか、今や我が矯風會の大會に際し過去一年間を顧みて實に此言を思ひ起さずには居られません　私共の事業はなか／＼に廣くまた困難である人を得るに六ヶ敷てまた運動の半を助くる資金に乏しい幾度か企だてゝまた實行する事が出來なかつた事も一再ではありませんその都度私共は身の微々たるを悲しみましたがまた充分の勇氣がありませんでした我等の祈には力がなかつたのであります云はゞ眞劒でなかつたのであります（汝吾が爲め……）噫この御言を聞きて私共懺悔の涙の止まるを知りません如何ばかり吾等はキリストの爲めに盡しましたか自分の心が滿足する丈力の及ぶ限りキリストの爲めに働てあらうか怠惰てあつたてはなからうか自分の身體が主の御用に用ゆるに足る丈健康を保つたてあらうか記者は唯だ跪ひて主よ我をゆるし給へと云ふのほかないので御坐います讀者諸姉の中には必ず記者と同じ感にむせび給ふ方も恐らくはあると思ひます　私共は玆に顧然

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

眼を覺まして働なければなりません償ふ爲めの時日は多く與へられて居りますカルバリの光景を吾が心に映して血潮にそみ棘の冠じてうなだれ給ふキリストを我が胸に宿さば假令力がなくても兵糧がなくても我等が碧血を流して跪くその熱心なる祈禱と相俟つて私共の勇氣が百倍して最後の勝利を得る事が出來ませう我に力なしと云ふ勿れ求むる者には與へられます會の進歩の捗らざるを歎く前に私共はまづ神と共に交わりませう力の乏を感ずる前に神前に跪きませう成効の秘決は常に神と共にある事であります私共は再び（汝吾が爲めに何をなせしや）を繰返へしてお互に反省いたしたいと思ひます

○社告

記者は此頃數〻病魔に苦るしめられて編輯の期に迫つても立つ事が出來ず發刊の期日が非常に後れてすみません御寛容を願ひます

青年婦人基督教矯風會の意義

ストラウト女史

左は六月六日東京市青年婦人矯風會親睦會に於て女史が講演せられし大要なり

諸婦樣の鄭重御懇篤なる歡迎に對しまして一言の挨拶を申し上たいと存じます諸婦が私を仲間の一人と思召して御親切にして被下まする事は如何ばかり嬉しい事て御座いませう、私はいつも皆樣のお役に立ちたい主義の爲めに働き給ふ皆樣のお手傳をいたしたいと頻に望んで居ります、たしか皆樣が御遠慮なく何になりと仰せ被下ます樣に願ひます私は充分なる皆樣の御補助をいたゞいて居りますから二度茲にお願ひ申上る必要も御座いませんと存じます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私はお國に參りましてから日も尙ほ淺くそれに皆樣の御働の模樣も充分に存じて居りませんのでどんなお話を申上たらよいか實は案じられたのてそれにまた今日は他には演說の有無も存じませんてしたが兎も角も暫くの間靑年婦人キリスト敎婦人矯風會に就て一句〳〵說明いたしませうと思ひます、

先づユニオン即ち會と云ふ事に付きまして述べませう何故私共の組織に於きまして會と云ふ字を用ゐませうか之れ即ち私共お互に目的精神主義に於てことに一人の主導者のもとに忠實なるものとして一致いたして居るからて御座いませう自國の古諺に一致に勢力ありと云ふのが御座います聖句にも(爭ふ家は滅ぶ)と云ふ事が御座いますか例令て申しますならば今一節の絹糸は切れ易ふ御座いますか數筋の糸をより合せまして紐を造りますならばなか〳〵　切れません私共の周圍に惡魔の軍勢が一致協力いたして參ります時に私共が一致して之に衝りますならば必ず勝利を得ますが孤軍を率へて堂々たる大軍と戰ふ事はまことに愚な事てあると存じます之は勿論勇氣のある事には違がありませんか一方から考ますならば隨分勇敢てあるやうに思はれますがまたよく考へますならば常識を逸した行爲としか思はれませんそこて私共も軍隊のやうに一定の組織の下に立つて攻め寄す惡魔の軍勢と戰ふので其勝敗は單に吾等の忠不忠によるのて御座います私共は互に提携して行手にある敵軍に抗しませう然らば我等の戰爭は何の爲めてあるかそは矯風主義のためてある事は自から御了解の事て御座いませう何を矯風いたすので御座いませうか即ち禁酒禁煙を主張し道德の標準を高め家庭の淸潔を保つに育兒の完全を計てあります殊に嚴正禁酒を主張いたすので御座います恰ど社會凡ての弊害厭惡すべき不道德な行爲罪惡は皆飲酒に基因いたしますので之の爲めに私共は畢生の力を致して居るのて御座います勿論他の方面に於ける運動も決して等閑にはいたしませんまた私共は靑年者の敎育上に禁酒の必要を認めるので御座います

その他私共はまた課の働を通して一般の方面に活動い

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たして居ります御國には二十二の課が設られてありますさうですが青年部にも四個以上の課をお設になつて居る事と思ます主義のもとに立て充分罪惡と奮闘されあらゆる善の發導者となられん事を希望いたします次に私共はキリストのもとに結れる團體であります私共は善をなし給ひ、大なるキリストを大將として戰爭する兵卒で御座います罪に亡ぶる人を救ふ爲めに此世に來られましたキリストの靈が私共の心に宿りませんならば私共の働は空であります如何にして聖靈に滿たされませうか、キリストを研究しその聖靈我が心の中に宿し其敎訓を戴するやう祈らなければありません凡ての働の最後の目的は個人の生命を救ふ爲めでその生命を亡す處の罪惡を撲滅いたす爲めに私共は團躰をつくつて居るので御坐います私共は特に基督敎徒と云ふ字句を忘れてはなりません

私共はそれから婦人と云ふ事について少々考へたいと思ひます私共は時々政事に關して何等の權利もないのをつまらなく思ひますが實際に於ては實に光榮ある働をいたして居るので御坐います立派な婦人ほど世に貴いものは御坐いませんまた婦人の感化力ほど偉大なものも御坐いません子供の養育は勿論家庭の中心で家庭の思想を支配する人は婦人で御坐います彼の女が才學威嚴優雅は優に天國を此の世に現出しその子女は世界に於て一村一都邑に於て善の活動器となります多くの男子は之の賢母に負ふ所が澤山ありますその敎訓にその熱心なる祈禱に小供を敎ゆるには己れまづ敎育しなければなりませんその小供と同じく凡ての方面に趣味を解さなければなりません而してひとりその家庭に止まらず近隣の人々にその市に其國にまで趣味を持たねばなりませんまた彼女は如何な境遇が子供の爲めによくないとか如何なる感化は子供の性質を害するとかまた如何なる事柄が其子供を向上さゝせるか等を考へてその子供の性質を立派に建てゝやらねばならないと存じます今日茲に出席になりました諸姉の多くは學生で御出の事と存じますがまことに結構な次第で御坐います皆樣には高尚にして純潔な善良にして才智

ある婦人にならうと思召して自ら修養してお出の事と存じますが之れほど貴い事が何處に御坐いませうこのその組織も諸姉が忠義に眞面目に働いて下さいますならば慥かに尤も有益な婦人を養生いたします大なる助けとなるであらうと確信いたしますからよく此の事を記憶していたゞきとう御坐います

青年時代は人生の働の準備としてまづ種子を播くべき基礎とも申すべき時で其時代は實に短かう御坐いましてまご〱いたして居りますうちに自分が既に白髪の老人になつた事を驚くので御坐います私共は急いで夥だしき收穫のある種子を播かねばなりません曾て左のやうな話を聞きましたそれは一人の子供が父様に畠にお豆を播くやうに命ぜられましたが其日は丁度天氣が麗でまことに樂しい日で御坐いましたので此少年は種播をするよりも釣魚の方が遙か面白いと存じまして父から渡された種子を不正直に大きな石の下に置き捨てゝ自分は一日樂しく釣魚をして遊んで家に歸りました父なる人は如何して此の少年を疑ませう慥かに云ひ付を果した事と思つて何も申しませんでしたが詐はいつまでも顯はれずには居ません一二ヶ月たつと先きに石の下に捨てられた種は萠して彼處此處と萠出ましたモーその少年はかくす事も出來ず其不正直な罪は直に罰せられました

之れと等しく私共が充分注意して其基礎を固めないで種を播く時には慥かに最後に不注意な働に不正直な證據が顯はれて多く人の笑を招くやうになります、青年は野心と勢力と熱心と勇氣に滿ちて居りましてまた未來は如何なるか人類の爲めに惜しい働をなすものなるか但しは吾儘と私慾を貪る人になるかまた世の不幸に泣く人の涙を拭ふ人になるかはた他人には凡て不注意無頓着な人になるか何れかに決せらるべき時代であります之れて一通り青年キリスト教婦人矯風會と云ふ文字に說明と處威を述べました

私思ひますにその働ほど實際的活動に適した組織かないと思ひます亞米利加に於きましては青年男女が集つて何にが善良なる人民の敵であるか如何したら善を

助けて罪惡の健固なる砦を打ち破る事が出來やうかなどの問題を討論いたします其人々は自らすゝんで絕對禁酒の誓約に捺印記名して會費を拂ひお金を集めて働きを助けましたりまた禁酒文學を配布して主義の擴張を計りまた懸賞文學會を開いて主義を紹介する等實に見事な活動をいたして居ります斯樣にして彼等は自ら發展して行くので御座います、さゝやかなる智識を善事に利用して居りますから段々新らしい智識と經驗を積んで遂には一市に大なる勢力となつて行くやうに見えます諸姉私共は世界を今日よりもよくして人類の道德をもつと高くする爲めに私共のなすべき務を勵みませう私共の働は神樣の働で御座います而して常に神樣は私共の働に御手をかして被下ますから倦む事もなく失望する事も御座いません撓まず怠らず最後の勝利を望んで戰ひますならば必ず凡ての惡は敗られて世は樂しい天國となりませう而して其時にはその勝利の蓆に侍る吾等の歡喜…如何でありませう想像するさへ胸のをどる思ひがいたします

臺灣みやげ

林　歌子

四月八日に神戶を出帆致まして五月廿七日に歸りました、丁度四十日臺灣に滯在致ました、領土になりました以來十二三年間に斯く迄進みましたかと深く感謝の念に溢れました、土匪征討の爲にやんごとなき御身を殞て玉ひし北白河宮の御遺跡は臺南にあり御薨去の時に用ひ玉しといふ寢臺並に色あせたる赤毛布破れ敷物を見奉りては座に當時の御苦辛を忍びまいらせました、臺北にも臺南にも故兒玉總督の石像か立つて前民政長官後藤男爵を用ひて大に治政の基礎を立て玉し故將軍を追慕致ました、後藤男爵に繼て祝民政長官の令聞高かりしに卒然逝去せられし報に歸る途中にて接して胸をうち臺灣の前途神の祝福豐ならんとを祈る臺灣は從來支那の植民地にて現に五百萬の支那人ある生蕃は恰も北海道のアイヌの如くに、本來の住民なるを支那人入り來りて己を壓迫するを憤り有名なる「首刈」をなして祖先に酬るの道と信じて刈取し首の數多きを以て自ら誇り人からも崇られて丁度猛き獸の樣ですが、追々

は歸順させ又抵抗するものは段々山の奥へ押し入れられ隘勇線とて生蕃と良民との堺に働く警官は非常なる骨折てす、生蕃は金錢の使用は知らず物品交換の太古でありますから婦人會の働きで所々に物品交換所をひらき日用物と生蕃が持ち來る獸の皮や牛の角など、交換致しますそうです生蕃を歸服せしむるために種々の方法を盡し時々十人二十人が警官に伴はれて臺北に出て總督官邸に招かれては庭を拜見したり基隆港へ軍艦を見に參りなど致します私共も歸りの時に同じ汽車で十五六人の蕃人と一緒に基隆迄參りました生蕃は十萬程にて極暴きは二萬程ときゝます支那人即ち本島人は中々勤勉てす山は青く山の半腹迄茶を植て米田は少しも內地に異ならず收穫は二度或は三度の所もあり、米は主なる物產にて新領土の富源であります

南部は甘藷多く製糖業漸次盛なり、樟腦、砂糖、茶、敎育は內地人のために小學校臺北には中學校女學校の設けがあり、本島人即ち支那人のためには公學校とて國民敎育を授くる設ありて敎師は內地人にて日本語にて敎へ唱歌など實に巧であります、此子供達の時代とならば日本化して裁判事務などに通辯を用ゆること追々少くなりませう婦人の纒足阿片を吸ふなどの蠻習も追々にあらたまりませう

台灣にある內地人は約六萬と申します自然新領土を開拓指導するの大任を有すれば其覺悟を以て腰を据え一時的の考を去りて、人間到る處に樂境あり我は其職務のために新領土に骨を埋める人といふ如き決心を以て其職務に從はれんこと希望します

宗敎は英國加奈太より來れる宣敎師北にはマーケ師南にはキャンメル師力を盡して道を傳へマケー師は已に故人となりて其墓は台北に近き淡水にあります敎會は處々にあり一日台南にある本島人の敎會を訪ひましたが四百に餘れる會衆は男女各半を占め流暢なる支那語もて說敎禮拜をなし服裝は奇麗といふにはあらねど薩張と淸げに着飾りて敬虔の心は其面に顯るゝ樣に覺えました

內地人の敎會は台北に二つ台中に一つ台南に二つあり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て牧師河合龜之輔氏の牧せらるゝ台北教會の如きは內地にも多く見ぬ大教會で會員に長尾土木局長の如き信仰といひ位置といひ眞に紳士の典型と仰がるゝ方を有し全島に及ぼす感化偉大であります

婦人矯風會員は所々に一人二人を見出せしが程無く能力ある團躰の組織せられて新領土を潔め神のため國のため家庭のために只此一事を務むといふの祈禱が正午には新領土よりも捧げらるゝの日到らん事を祈ます

○夏の夕（第一）

百合子

杜戸の社ちかく海添の松の梢を縫ふて今しも千貫の岩根ちかき岸邊に腰を下した二人の婦人がある長き夏の日も早や最終の光を紺青の海面になげて彼方此處に金波を漂した美しく彩色られた空は瞬くまゝ千姿萬樣に變つて江の島は夜のまくのうちにつゝまれさうにぼんやりし初めて汀に寄する女男波は岩や小石に碎けて赤玉や碧玉と飛び梢は靜かに欸乃もモー聞えぬやうにあたりが何となく寂寞を感じ初めるやうになつた突然年若き方の婦人は

「先生マア何と美しい景色で御座いませういつまでもこうして居たう御座いますねー

先生と呼ばれし婦人は

「左樣で御座いますよ日が赤く富士山の彼方に沈んで行く處など兎ても畵人のどんな巧な技でも寫せますまいねー

若き人

先生私は海士の子供等が浦山敷て堪りませんわお天氣のよい日には一日海邊にあゝして魚を漁たり海草などを採つたりまた雨の降る日には魚の網など繕ひなどして何にも若勞などなささうですもの私はね本當に東京の惡魔の巢窟見たよな處に歸りたくはないので御座いますよ先生私はね別莊の隣の翁やの家庭が羨しくて

と大息をつきました

田鶴子樣人間はどんな處に居ても苦勞と云ふものが御座いますよそれは海士などには義理とか虛禮とか

云ふ事は少しもなくてそれは〳〵呑氣で御座いませうよ然しまたせち辛い世に生活難に追はれる事でせう貴女などは何不足もなく人も羨む境遇に入らしやるのに左樣な事を仰いましては罰が當りますよと一寸慰める風に申しました

先生未だ御存じ遊さないので御座いますか、私の家庭の有樣を私はこの行先如何なる事かと思ふと夜も安く眠られないので御座いますよ無體ない事で御座いますがお父樣の近頃の御胸の中が少しも私には分りませんの、子供の敎育などには少しも此頃は御懸念遊さないで毎日〳〵外出ばかり遊てとはや眼うちに露を宿してホロリと一雫縞せるの單衣の膝の上に

私も暫らく御厄介になつて居りますから存じません仕第でも御座いませんが……實はお宅に上ります前には嚴重な御家庭でお子樣方も皆お情しいお靜かな方であると聞かされまして上つたので御座いますがお子樣方には中分が御座いませんが三日にあげずやれ競馬だとか花だとか勝負事に御揃で御外出てなるのを拜見いたしまして驚きましたので御座いますよ、遂とんだ失禮な事を申上てすみませんてした御免遊ばせ

田鶴子

先生マア飛んでもない事私も如何かして家庭の事など先生にお知らせ申上たくないと心配いたしましたがどうも近頃のやうに往來する人が皆貴顯淑母な方〳〵ですが何れも御存じの始末の方々ですから私はモー一日東京に居ると病氣になつてしまいさうになるので御座いますよ、アヽ二年前に生母とかうして岩の上へ座つて母樣のお若い頃の事や杜戸神社の歷史など伺つて居りました時はどんなに嬉しかつたでせう、先生此處は本當に思出多き處

云ひも切らずほろりと

先生も田鶴子に同情して無言に唯だ大きな雫をかくさうとてかハンケチで頰のあたりを撫で居りました、田鶴は拭ふても〳〵乾きヽれぬ涙を無理に呑んで

先生家庭の恥を申上る事はまことに辛う御座います

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

が先生のほかに同情して頂く方が御座いませんからお聞き苦るしう御座いませうが御聞き遊ばして被下ましね。先生モー來年の夏は此濱に來る事が出來ますまゐよ、一寸先日私が父と母とか話して居りましたのを聞きはさむだので御座いますがこの別荘は借金の擔保に入つて居るので御座いますつて而して先日麻布の祖母の處へ參りましたら田鶴子なんかこそみじめなものだと仰つてお泣になるのでせう私も吃驚して幾度も／＼伺ひましたら芝の家も田端の別宅も皆質とかに入つて居るのですつて而して父は其返濟方に非常に苦辛をいたし居りますか最早や實業界の人望が全くなくなつてしまつたから恢復の見込がないだろつて而してそれもこれも今の母が惡いのだつて申したので御座いますよそれは母も惡いでせうが父も行き屆かないので御座いますわ生母の有年中は父などは本當に眞面目で夜でも十時より遲く歸つた事はないのですの而して日曜日にはいつも家族を引きつれて玆に來て遊ぶのを何よりの樂みだと申して居りましたのが此度の母は新華族の一人娘で大した贅澤家だと云ふ事でしたから父も一二度斷りましたが何分三浦の伯父樣が御周旋遊ばしたので斷り切れず私共の家に御出で被下ましたのですがそれからと云ものは父は母に誘はれて一二度競馬に手を出しましたのが病つきてそれから競馬には丸るで氣でも狂つたかと思ふ程夢中になつて今では非常な痛手を受けてるのです其に母は大の花づきですから一週間に二三度はきつとうつのでせうその度に父もつきあいするものですから僅かな貯金も見る／＼なくなつて行つて今は前申上たやうな仕第で御座いますのやがて豐田の家も瓦解して私共は何うなる事やら本當に／＼に生きて居る勢が御座いませんわ私はモー覺悟いたして居りますから何も知らない妹たちが不憫で／＼なりませんのと

今は聲をたてゝ濱邊に泣き伏したのである

全く御同情申上ますよ然し何にも運命で御坐いますからまた貴女がしつかりしてお出てゝ御座いますか

ら私も嬉しく思つて居るので御坐います私も何かの御相談相手になればと存じて居りますのモーくれましたから歸莊ませう

日はとつぷりとくれて夕づゝが一ッ高く空に輝いて磯吹く風が身にしむやう田鶴子は言葉實にやさしい師の手にすがつて悄然と立ち上つたのである波は少しく高くなつてもうあたりは闇につゝまれて來た暗の梢を跡り行く二人の運命は如何なる事やら

（不完）

料理

菜女

○ストロベリー、ショウケーク

粉	コップ	四杯
ベーキング、パウダー茶匕		二
鹽	仝	一
バタ	大匕	一杯半

牛乳にて右の品を軟にときて燒く、燒き上りし時横に二ッにきり、いちごに砂糖をかけしものを一方にのせて、今一ッをその上に、のするなり、

○クリーム、玉子

鷄卵六ヶをとり、固く煮るべし、之を横に半分に切りなほ端を少し切りて臺の上に立つやうになすべし次に右の玉子の中から黄身をとり出し、うらごしにしそれに鷄肉とセロリの細にきざみたるものを、まぜ合せ鹽と胡椒にて味を附け先の白身の中に入るべし玉子は一つ毎に大匕一杯の白ソースをまわりに用ひ、なほチシャの葉を添て食卓に供ふべし

○キャベツ卷　中位の大さのキャベツ一個

挽肉百目（牛、豚、肉、六、四分の割）パン粉

まづキャベツの葉を一枚づゝやぶれぬ樣にはがし熱湯にざつと湯煮して引揚げ、葉の裏より莖の太き所を包丁にてけづり肉は鹽胡椒とをふりかけパン粉大匙三杯位を加へ（パン粉或は代用として食パンのくずをふきんにつゝみ水にひたしたるにてもよし）玉子の黄身一ッとを揉み合せて十二個位の細長き玉に造りキャベッ

の表の方にのせ莖のふとき方より巻き始め左右よりたゝみて巻き鍋の中に入れかぶる位にスープ(煮出しにてもよし)をさして鹽を少々ふりかけ凡三十分間程煮て引揚げ煮汁の中に少々のメリケン粉を溶かし入れど〱ろにしてキャベツ巻の上にかけて食卓に上す

○隠元の黄あへ　さやいんげん二束玉子一個

さやいんげんはすじを取り湯煮をする時一つまみ程鹽を入れ(青くゆでる爲)軟かになりたる後引揚て水をきり一通ゆで玉子の黄身を摺鉢に入れよくすり鹽と白砂糖にて味加減をしいんげんをさらのうちに入れてあへるなり上に白みをあられにきりてのせるときは美しく且味よし

○フライドケーク　玉子二個　白砂糖湯呑一杯メリケン粉三合

玉子二個を摺鉢又はふかき鉢に入れ白砂糖をも同時に入れよく〱摺りて後ちメリケン粉をふるひながら入れやうやく手につかぬ位を度として長さ四寸ふとさ小指の半分位に手にてのばし一寸むすび(結目に水をぬるとはがれません)ごまの油又はラード等好みの油にて揚げるなり以上の分量で三四の客には供し得るなり

青年部欄

○青年部諸愛姉へ

部長　ガントレット恒子

日増に御暑さが加はりますと共に皆々様は日々暑中休が近いて參りますので嘸かし御樂しみの事と御察し申ます偖て本年も大會が愈々眼前に迫つて參りました、私は過ぐる一年間の愛姉方の活動の御報告を請けるのを樂んで居ります、何卒此位の事は報告するに足りないからと御遠慮下さいませんて事大小となく委しく御報告を願ひます、之は一つは御互の會の模様を知ると共に他の會の參考とも奬勵ともなりますのです、而して可成御骨が折れましても大會へは御一人も多く御出席を願ひます何れ大會の席上で御面會の出來る事となし樂しんで今の中に家事の都合を附け乳呑兒を連れて

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ども出席致します積りて居ります尚皆様が大會の成功を御祈り被下様御願ひ致します

左は去る五月中松山市松山女學校教師館に於ける親睦會席上にて神戸女學院々長ミスソールの語られし感話なれと玆に譯して姉妹等に御一讀を乞ふ事とせり

私は先達バンダイクの書いた話の中に斯ふ云ふ事があるのを讀みまして非常に感じました

「或時一人の旅人が一つ市へ行きました處が其市は何處から何處まで清潔で其處に住んで居る人々の顔は生々して其健康の様が一目に解る様てした而して其處には靑々とした草木が繁茂して色も香も美しい花は咲き亂れて居りましたから其原因を研究して見ると其は全く市の中央に清き水の流が不絶流れて市を濕し且つ人民に良き飲料を供給したからだと云ふ事が分りました然し其人は尚其丈では滿足しませんで此清い奇麗な水は何處から來るのかと人に尋ねました處が其人は市の後にある小山へと案内して緣したゝる様な樹の下に湧き出て居る小い泉を示し、而して其泉の水は樋を通つて市へ運ばれて居ると云ふ事を教へてくれました、旅人は其市を去りましたが又二三年の後同じ市へ行つて見ました處が今度は案に相違して市には河もなく以前の活氣は失せ草木は殆と枯死せんばかりの有様で住民の顔色は其躰の不健全を示し以前生命の原たりし川の水は大變に濁つて少くなつて居るのを見ました、其故此は泉か涸れたのかと思ひ小山を昇つて泉を探ねて見ますと泉は以前の通りこん〳〵と清き冷き水を湧かして居りましたが其水を市中へ送る樋が毀れて居りましたそうです、其で旅人は初めて市の甚しい變化の原因が解つた」と書いてありましたが、丁度此の話は私共をイエスの關係を能く現はして居りますまいが、イエスは「我は活ける水なり」と申されました、而して私共は其活ける水を饑ける世に運ぶべき樋であります、然し此の大切なる務即ち世に生命を與へ世を潔ふと云ふ務を有つて居る樋が破れて居つたなら主より流れ出る活の水は空しく湧き出てゝは居りますまいが、世が濁り汚に充ちて居るのは私共樋が毀れて其用をなさな

い、しるしてあります、(以下次號)

東京ての親睦會

六月六日午後二より番丁教會堂に於て東京靑年部聯合親睦會兼てストラト女史歡迎會を開く來會者三十名(鳥居坂小石川フレント女學校)横倉秀子姉司會一場の挨拶をなし續てミススストラウトの講演に移る(別項)各々大に益せられたり後議事に移る重大なる件は聯合運動の件にてありき後茶菓を喫しつゝ胸襟を開きて談笑し十二分の歡を盡して散會せし時は午後六時なりき

矯風會通信

○本部消息

五月廿八日本部常置員會に於てストラウト女史を某亭に招待して會食をなす來會者十一名席上本多副會頭の挨拶につぎストラウト女史の答辭ありたり席上談笑に一時間余を過こし直ちに東京婦人會聯合地久節祝賀會に參列す

會計並に通信書記は大會準備の爲め多忙を極む

婦人新報記者は數々病魔に襲はれたる爲めに新報の發行に大遅延したり現時攝生中なりストラウト女史には來朝以來諸所に招聘せられ演説遊説多忙ことに佛教大學の招聘に應じて同校に禁酒主義を鼓吹せられしは空前の壯事と云ふべし女史の上に天のゆたかならんを祈る

○麴町支部

明治四十年四月ヨリ仝四十一年六月マテ決算報告

收入の部

一金百貳拾圓參拾九錢　會費

一金四拾九圓六拾錢　臨時寄附並收入

計金百六拾九圓九拾九錢

支出の部

一金八拾圓五錢　婦人新報代

一金拾八圓　書記手當

一金四拾圓廿五錢　大會費

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金拾壹圓七拾四錢五厘　雜費
一金九圓四拾錢　臨時費歡迎會其他
計金百五拾九圓四拾四錢五厘
差引殘金拾圓五拾四錢五厘

○横濱支部報告

待ちに待しストウラト孃には五月二日午前八時モンゴリヤ號にて入港せらる、出迎の姉妹方の內、横倉、二宮、城戸の三姉には本船まで趣く、やがて一行の上陸せらるゝや直に海岸教會に於て歡迎會を開く、二宮會長の開會の辭に續て城戸姉の歡迎の辭ありストウラト孃には長途の勞れも見へ給はずいと快活に溫顏をもて鄭重なる答辭を述らる其より一同茶菓を喫し同十一時同女史の上京を停車塲に送る

△五月十一日例會を兼親睦會を會員大橋繁の姉宅に於て開く生憎の雨天加ふるに頃日岡山孤兒院慈善演藝會開催の爲め會員は多く之に奔走中にて出席者僅に十數名二宮會長聖書朗讀祈禱の後當地眼科專門醫師石川氏本會の爲め出席トラホームに付種々懇篤なる講話あり終て親睦會に移り茶菓を喫し互に胸襟を開きて語り合ひ四時頃散會す

△五月廿八日午後二時より美以教會にては地久節祝賀會を開く司會者雪野姉の聖書朗讀祈禱の後赤野氏の講話あり續いて我皇室の爲め五分間の祈禱會をなし終て一同茶菓を喫し四時散會す當日は出席者少數なるにもかゝわらず頗る有益なる會合にてありき

○前橋支部

△五月十六日午後二時より白崎姉宅にて役員會を開く議決せし件は一、例會を六月六日午後二時より教會にてなす事一辯士として眼科專門醫なる由利省吉氏にトラホームに就いての講話を願ふ事一訪問は各役員一同分擔する事等なりし後ち無邪氣なる雜談に時を移して四時半頃散會せり

△六月六日午後二時より教會堂にて堀會頭司會の許に讃美二百四十六聖書朗讀後祈禱を持つて開會す記錄書

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

松宮姉病氣の爲欠席せられしを以て正木姉代りて前會の記錄を朗讀す次いで辯士由利氏の講話ある筈なりしも「元來此トラホーム病に就いては委しき話をなすよりもかへつて一度親しく同病の手術の模樣の病狀等を觀察せられし方諸姉の爲に有功なれば」との事なりしゆゑ平賀姉の祈禱を持つて一先會を散じ一日由利氏宅へと出て立ちぬ三々五々むれつどひながら樂しく一日の由利氏宅に着せしは三時少し過ぐる頃なりし折から先づ第一に玄關には眼を病み居る十あまりの人々に接し云ひ知れぬ思ひに胸せまりつゝ案内さるゝまゝに一同靜かに手術室へと進み入り親しく現病狀に就いて種々なる新らしき事物を拜聽し有優なる幾教訓をあまたうけ今更に同病に對して多大の注意を用さねばとの思ひを强め各々家路にと袂を別ちしは五時過ぐる十五六分程なりし新入會員一名眞中すゝ子姉。

○大坂支部

地久節報告

△朝よりの小雨あとなく晴れて日影うらゝかにてりかがやく五月廿八日午後一時より中之島婦人ホームに於て地久節紀念會を開き併せて長田貞子渡邊たね子兩姉の追悼會をも開きぬ。

當日は二宮姉の司會にて五分間の默禱をもつて始めの讚美を歌ひついで聖書羅馬書格三章を朗讀し開會の祈禱を捧げらる。

馬場牧師地久節の祝辭として簡單に皇后陛下の御徳をたゝえられかゝる婦人らしき國母陛下を上に戴く吾人は實に幸なりこれ神の御惠みなればたえず感謝し今一しほ神の豐かなる御惠みの下らんことを祈れよと熱心に語られ壇を下らる此時會員一同起立嚴肅に君が代を二唱して祝賀會を終へぬ。

引つゞき四十年々會以後の報告及び會計の報告あり次に林ホーム主任たりしホームの現状を語らる日尚淺きに拘はらず今日の成績を見るは其任に當り居らるゝ諸

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

姉の忠實なる働きの結果と感謝しぬ。

林會頭は昨日臺灣より歸阪せられたる事とて旅途のつかれもあらんにいと熱誠に臺灣實況談を話せられる益ありて趣味深く伺はれたる神の御教はいたる所に尋ばれ非常なる勢力を有し到底内地の及ばざるところありと私共大いに省みるところありたり

後直ちに兩姉の追悼會にうつり長田姉愛唱の二百九十二番の讃美を共に歌ひ馬場姉追悼の辭を述べられつゞいて加古姉渡邊たね子姉の略歷を述べらる一同三百〇九番の讃美を歌ひ細合姉とくに兩姉の爲めに祈りを捧げられ會を閉ぢ後大會の事につき協議ありたり共に主の祈りをなして散じぬ。

八十餘名の會員集りていと盛會なりき。

伊東計清水書記ともに病氣の爲め欠席せらる。

花の課報告

六月十四日午後一時より約翰教會堂に於て花の課紀念日を守る課長諸方千重子姉數日來殆んど晝夜苦心して當日の準備萬端同教會の委員たちと共にせられし甲斐ありて實にうるはしく目もまはゆき迄活したる花を以て飾られ特に其多くは會員の庭前にある手植の花と來會姉妹各々携へたれば一入の興味ありて眞に愛情溢るゝばかりなりき司會者は宮崎優子にして讃美開會祝禱の後林會長花の紀念日說明せらる如何に我等婦人最もふさわしき愛の働きを此課に於て示すのを語り常に此やさしき心を以て病めるもの鰥寡孤獨を恤し助る心掛ある事を敎へらる、聖書朗讀の後早川技師此課につき所感を述べられ此うつなき花うつき如何に神の慈愛をさとり學ぶべきかを說かれ花の榮枯は今月に止まれと神に捧けし此花に主の御手にて觸れ玉ふなれば此永遠つきざる慈愛の心を人々に分ち與へるこそ本課の望ならめと訓へられ次に數名の祈禱ありて後來會各員手に〳〵數枝を携へ隨意各病院又は朋友を訪問すると共に一語たりとも神の愛を語り傳へん事を約し又殘る多くの花を携へ十一名の會員島町衛戍病院へ訪問せらる院長は喜び迎へて各室訪問娯樂室も其花を備へ皆々喜以

て散會しぬ

當日集會員五十名ばかりなりき

入會者

榎本直野　安川諄　淺川もや　西村たま
大西さち　横山千代　吉田しま　津田あい
清水朝子　山本はま　吉田馨　〆十一人

少年少女大會情況

百花咲きみだれ、鳥うたふ、此好時節に、花の如き、倘ほ美はしき、愛らしき、少年少女の大會は、去る五月十日、大阪青年會館に於て開會せらる。折惡しく雨天なりしも期定の時刻前には少年少女の各團隊盛に繰り込まれ、間もなく立錐の餘地なきに至れり。雨天にもかゝはらず一千〇五十名程の盛會なりしは、神の優渥なる御惠と存じ、赤心よりの感謝の祭を捧げたり。彼の愛らしき子供の爲す事とも見聞せし時には有名なる辯舌家の話よりも、美麗に咲ける花をながむるよりも、遙かに樂しく趣味あるを覺えたり

△左に其順序を掲げれば

一讃美歌（四百十八番）		司會者馬場牧師
一聖書朗讀		一同
一祈禱		司會者
一開會ノ詞		仝安息日學校課長田中ソト
一祝詞		玉造日曜學校
一歌	日曜學校	救主教會
一話	仝	川口教會
一手まれ	仝	安治川教會
一演說	仝	南教會
一歌	仝	浪花教會
一話	仝	高津浸社教會
		プール女學校内
一暗誦		下福島日曜學校
一子守遊戲	仝	パウロ教會
一話		難波日曜學校
一歌	仝	聖三一教會
一演說	仝	島ノ內教會
一詩吟	仝	西教會
一話	パウロ教會	山田牧師
一歌	仝	復話教會
一演說	仝	城南教會
一福音唱歌	仝	東教會
一謝詞	仝	下寺町傳道館
二讃美歌	仝	天滿教會
一演說	仝	九條教會

一モーション、ソング　仝　大阪傳道館
ウヰルナメ學校
一演說　日曜學校
一グドバイ、ソング　北教會
一演說　仝　西浸社教會

○堺支部

△本月廿八日午後二時地久節祝賀會を堺組合教會に開く矯風會長德澤姉木村牧師を照會せられ司會者角田幾子開會の祈禱聖書朗讀の後ち木村牧師の家庭に於ける婦人の心得及同氏が外國を視察せられたる國々の風俗等有益なる說敎を述べらる一同大に益する所大なりき終りに婦人二名の熱心なる祈禱讃美の內に午後三時半閉會す來會者六十餘名なりき

△我會設立せられてより早くも茲、一周年、規定に從ひ本日は年會を催さる

一會員　本會は當初四名の特別會員と六拾五名の通常會員を以て成立せられたるものなるが爾後特別會員に於て壹名、通常會員に於て拾四名の新加盟者を(得たりしも)事情の爲途中轉會又は退會されたる通常會員二十二名ありて現在五名の特別會員と五十七名の通常會員とを有す

一會合　規則に制定せられたる每月一回の定期集會並に二回の臨時會は目的に準じて開催せらる本會に同情深き牧師方を聘して有益なる勸話、演說を拜聽せり、尙此外右集會を開きし每に豫め役員會を開きて相談したり

會衆の數は公開の集會に於ては大抵六十名斗なりしも會員のみの集會に於ては三十名を越ゑしとなかりしは遺憾のことなりし

此外本年度の特別なる働としては昨秋兩丹及山梨地方に水害を蒙りたる際罹災民救助の爲義捐金品を募りて送附せし事あり

右謹て報告し更に豐なる主の祝福の本會の上に在ん事を祈る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

附記

堺婦人矯風會設立一週年を祝す

林　歌子

堺は大阪に程近ければ大阪婦人矯風會に籍を有する熱心なる二三の會員ありしが遂に昨年六月獨立しつゝ一の支部を組織し德澤夫人を會長として現在會員七十餘名親切に誘導扶掖する特別會員數名を有し一年間夫々の働きをなし經濟も一年間の總收入一百圓に超ゑ昨八日てもて教會に於て一週年の紀念會を催しぬ益々會員諸姉の健在を祈る

○盛岡支部

△當地矯風會はいつもながらまことに不振の有様にてとにかく毎月例會は第一木曜日午後にいたし居りしも集會者僅かに五六名したがつて通信も怠りがちと相成居れり

扨例年の通り當年も五月の例會日に於て役員改選を執行れり

會長　佐藤たつ子　副會長　長岡　榮子

書記　坂本　貞子　及　村上　米代

會計　小林ちよの子　及　平野たか子

終りて會の擴張のため本部會頭を御招聘いたす事に相談し大會前か若しくは後か是非實行するに決し散會したり當日集會者十名なりき

○神戸通信

△五月廿一日、三瀬副會頭宅に於て役員會を開く出席者拾參名

地久節祝賀會執行に就き且つ又本年度活動の方法等に就き協議す

暫らく韓國傳道視察のため渡韓中なりし渡邊會長歸神せられしを以て會員一同の熱望に由り再び會長として盡力せられむ事を請ひ承諾を得

△五月廿八日豫定の通り地久節祝賀會をメソヂスト教會内に開く參會者八拾貳名、吉岡初音姉司會のもとに左の順序に由て執行せられたり

一　讃美　四三　　一　同

一　聖書朗讀ペテル前二、十一――十七　　司會者

一　祈禱　　川本ツカ姉

一　君が代　二唱　　一　同

一 開會の辭　小磯ミト姉
一 祝辭　渡邊會長
一 合唱　ミスポアル
　　　　ミセスヘーガー
一 演說　村上廣輔氏
一 國歌 三七〇　一同

小磯姉は曾て畏きあたりに奉仕せられし事とて九重雲深く吾等臣民の絶えて知るに由なき陛下御日常の御些事に近人の君たる御德のしるし渡らせ玉ふ御慈しみのあはられたるふし〴〵承るを得かしこさに袂濡るを知らざる程なりき、渡邊會長は渡韓中親しく見聞せられし所に由り一層我　帝室の御稜威の洽き我臣民の幸福を感せられ　陛下の御稜威をたゝへらるゝと共に又我等を勵まさるゝ所多かり、村上氏は　陛下が御賢明に渡らせらるゝ由て來る所の御系統より說き起され明治維新前後國内の動亂、我帝室の御苦心、此際皇后として立てられ玉ひし陛下の啻ならぬ御責任、再後國民啓發の爲めに宸襟をなやまし玉ひし御事蹟など詳しく語り聞かせられ、恐れ惶みつゝ衷心より陛下か御稜威を讃へ、永久の御榮えを祈り奉るげにけふこそは嚴肅に眞の意味に合へる祝賀會にてありき、散せしは午後の四時

○名古屋市

五月六十日土曜日午後二時より南久屋町中央敎會に於て當支部總會を開く讃美歌聖書朗讀祈りに續きて會計其他の報告あり課長の多くは事故ありて出席なかりしを以て直ちに役員の改選に移る課長評議員は會長の指命となす此日集會者非常に少かりしも延期したりとて多數の出席者を得るも覺束なければとて開會せり集會者七名外に權利委任者數名撰擧の結果左の如し

會長　廣瀨銀子姉新任　副會長　關澤千代子姉重任
會計　香取千代子姉新任　書記　安間きみよ重任

廣瀨銀子姉には到底會長たるの器にあらずとて百方辭退せられたれど一同强て會長たるを懇願したれば遂に承諾せられたるは一同神の御前に喜びたる處なりきさきには鵜飼會長を送り會員一同よき後任者を與へられん事を切に神に祈りつゝありしに爰にかゝる適任者

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を得たるは神の御恵と一同感激する處なりき本月下旬には役員會を開き諸課長評議員を指命依頼する事に決し終りに主の祈りを以て四時閉會す

△五月二十九日金曜日午後二時久屋町關澤副會長の宅にて幹部役員會を開き諸課長評議員を選ぶ廣瀬新會長の司會にて讃美祈禱聖書朗讀の後左の通り評議員六名を選擧す

評議員　大島繼兄姉
仝　中村ひて子姉
仝　金子なか子姉
仝　片山あい子姉
仝　朝枝ため子姉
仝　見田さく子姉

從來は名目のみにて働きの少なき課の多かりしも本年度よりは一二の課を減じ又合同して一層力を致す事になして左の三課のみとす

交際課（花の課を含む）　中根つる子姉　平岡つる子姉
傳道課（軍人課、教育課、禁煙課を含む）　辰己たつ子姉　田島きさ子姉
母の會課　ミセスマカルピン　服部きみ子姉

以上

會員中出席なき者等の交互の近情を知り合ひ連絡を保ち又集會の時便宜出席を勸むる等の爲め新に訪問委員數名を擧げたり左に

金子なが子姉　辰巳たつ子姉
田島きよ子姉　伊藤えつ子姉

前記會長指命の諸姉へは會長自ら訪問して依賴せられたれば何れも快諾せられたり

來る六月の第二金曜日役員會を開き今後の方針等に付き議せん事を略決して副會長關澤姉の祈りにつぎ主の祈りを以て午後五時頃閉會す

△六月十二日第二金曜日午後二時より久屋町關澤副會長の宅にて役員會を開く會長の司會にて讃美聖書朗讀祈禱の後書記の前會の報告ありそれより會長廣瀬氏の適切なる勸めあり小なる物と雖へども集まれば大となり弱き者なりとも一致して爲す時は難きことも爲し得らるべし引て本會にても我れ一人位何かあらん出席する必要もなからん等と思はれて出席せられざる等の如きは誤まれる者なり以後は相互力となり助けとなりて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

働かん心なりと熱心に又よき例を引きて勸められたり

讃美歌の後辰巳たつ子平岡つる子姉の本日の議事の上又特別の本會今後の上に大なる神の惠を祈られて議事に移る本部より送附の報告書交附

一、會費を減ずる議ありしも到底財政上立ち得可ざれば從前の通り拾錢とする事

二、普通會員は可成的多く募集する事幷に賛助員を募る事

三、來るべき大會には代員一名以上派遣する事

右の終りに關澤姉の厚意より成れる茶菓を喫し午後五時頃關澤副會長の祈りにて閉會す

○京都支部

△一明治四十一年五月三十日午後二時より同志社女學校內にて例會を開く出席者本會員拾四人外に同校の生徒拾貳人あり

松山つね姉司會にて讃美祈禱の後澤谷日本基督教共勵會幹事の奬勵ありたり其概要左の如し

日本婦人の優しくして情に厚きことは恐らく萬國に勝る所なるべし元來子供の善惡は之を抱ける母親の反射にして又夫の働きも家庭の圓滿と否との反響多かるべければ要するに社會の善惡も多くは婦人の原動力に關係することを疑はざるなり左れば優しく且つ情に厚き日本婦人は一層の感化力に富むことなれば少しく意を用ゐても社會に貢献する所大なるべしとて本會の益々これに務めんことを奬勵せられたり

松山姉この奬勵を各實行せんことと勸告し田村さく姉祈禱をなせり

次に諸報告に移り平瀨やす姉に代りて和田きぬ姉會計の報告をなし又波多野さた姉裁縫部の報告をなし併せて每水曜日午後二時よりミシン裁縫を爲しつゝあればとてその補助を望めり將又松山姉は花の部にては培養せし花等を重に病人等の慰問に使用せしことゝ本月間に花の會を執行すべきことの報告あり

右了りて親睦會を開き同校より茶菓の饗應ありて午後五時前散會せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

函館支部

△五月廿八日午後二時より岩谷姉宅に於て地久節祝賀會を併せ親睦會をひらく集る者廿五名三谷會頭司會の下に杉浦姉の祈禱をもてはじむ伊東牧師及三谷牧師の熱心なるいとも有益なるお話しあり三谷會頭のすゝめの後難波書記の報告會計の報告有て伊東牧師の祝禱をもて一先づ閉會終り夫より親睦會にうつる入會者七名一同喜びと望みをもて散會せしは四時過ぐる頃なりき

吳支部

△四月廿四日及五月廿二日午後一時半より當市支部第二、第三例會を會長十時姉宅に開く兩會とも會長司會の許に讃美祈禱を以て始めミス、ヲジントン內田姉吉村姉の有益なる感話あり引續き姉妹方の熱心なる祈禱ありたり特に會長十時姉の經營せられつゝある軍人ホームの働きの上に又罪惡に沈める或る若き婦人の爲豐かなる神の裕助の御手の加はらんことを祈り尚ほ會員各自が日々の私禱の中に此等のことを記憶すべきを約しぬ出席者は第二會に於て十二名新入會員三名第三會には出席者十五名新入會員二名實に悲しむ可く戰慄すべき罪惡の渦中にある當市に於て主の聖名を慕ふ姉妹たちが少しと雖强き同情と愛と熱心とを以て集まり一團となりて働き得ることはうれしきかぎりなり終りて茶菓を喫し懇談の後一同望に滿されて散會す

○羅府支部

△四月五日第一日曜日午後三時より協議會事務所に於て例會を開催す來會者七名にして堀見姉司會の下に讃美祈とう及び聖書同談日講話ありて會に關する雜事相談の後ミセス、ハリソンの酒と就ての感話ミス仁田姉の會計報告等あり最後に小室かね子の祈禱を以て午後五時過に閉會す當日は昨年の末日本に歸朝せられし當會員池田姉の無事再渡米せられ互にうるはしき顏面を喜びつゝ樂のしき集にてありき

母の會報告

△四月十七日午後三時より北ブロード，エー基督敎會に於て開會せしに來會者八名にして堀見夫人司會の下に讃美歌祈禱及び聖書朗讀の得兼てより依賴なしおきしガイ博士夫人には明晰なる日本語を以て先づ本會婦風事業は母たる者の大に奮發を要する事を述べられ尙當會將來の發展に就て熱心に奬勵せられ後一日茶菓を喫し散會せしは五時半なりき

少年課發會式

婦人矯風會にてに此度少年課を設け去る四月十九日日曜日午後三時よりベツレヘム敎會に於て開催す來會者十二名小兒二十四名にて小室牧師司會の勞を取られたり初めて課長山本夫人の開會の辭に次て小室牧師は酒に就きて熱心に感話せられ適當なる聖歌など敎へ終りに酒に就ての書などを與へて深く飲酒の有害なるを說きて散會せしは午後四時頃なりき

大變後れて御氣の毒には候へ共私事少々不快にてありし爲何卒惡しからず願上候

○オークランド通信

△三月二日午後三時より王府キリスト敎婦人矯風會例會を美以敎會内に開く會頭高橋夫人欠席せられたれば副會頭大久保夫人司會せらる第一讃美祈禱次に聖書朗讀續いて司會者の最も我々婦人の日々記憶すべき利益なるすゝめあり次に書記會計の報告の後前副會頭高田夫人久しく病床にあられしが主のみめぐみのもとに全快せられしをもつて久々にて敎會に出席せられ病床中の所感かつ婦人が一家の主婦として常に心得おくべき事どもなどいと細々と述べられたれば各々大に同姉の實驗談より益するところありたりしそれより二三の感話ありて茶菓の饗應に移り五時頃散會せり當日の來會者十三名

△五月四日午後三時王府第十九街組合敎會に於て王府キリスト敎婦人矯風例會を開く副會頭大久保夫人司會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せらる當日の來會者十二三名なりしも中々に活氣あるかつ趣味深き例會にて司會者はもつぱら婦人のことにキリスト敎婦人矯風會々員として最も高潔なる生涯を送るべき事を熱心にすゝめられたり會計天野夫人の都合のため今日夫人之に代つて撰定せらる爾來オークランドは二年前の大震災後多數の人々一時に浸入せしより何時しか醜窟のそこゝに現出したるをもつて敎會はもとより協議會また我が婦人矯風會は大にふるい立ちてそれ〳〵手を分ちて市の重なる人々にせまり或は各派青年團體と力を合せて之をオークランドよりしりぞけんと種々運動を試みたりければ一時は惡魔の火の手も漸く下りたる有樣にて我等も大に神に感謝するところありたり然るに又ゝ一二の斯るいま〳〵しき家の現はれたれば如何にかして彼等をオークラードよりしりぞけんと我等己の微力をもかへりみず大に各々出來得る限り盡力せんとしつゝあり副會頭大久保夫人は常に斯る社會に立つ我等は先づ他を淸くせんとせば自からを淸く保たさるべからずとの意味にてことに此問題に關し有益なるすゝめありき後階を下りて下の廣間に於て茶菓の饗應あり散會せしは午後五時頃なりし

附記

去る四月十四日桑港發モンゴリヤ號にてフロライースラッツト孃世界キリスト婦人矯風會派遣委員として日本に向はれたり依て大久保おちみ孃同姉を船に見送りて花束を呈せられたり

二月中旬大久保夫人　長女をあげらる

三月下旬植山夫人　次男をあげらる

四月中旬堂本夫人　三男をあげらる

いづれも母子とも健全に肥立ち居らる

野返夫人　男子あげられ

山下夫人　女子をあげらる

根本正君譯
日々の力
定價　布表紙五拾錢　紙表紙卅五錢
郵税　六錢

根本正君譯
貧兒出世美談
定價廿五錢　郵税四錢

根本正君譯
世界最大物
定價五錢　郵税二錢

根本正君譯
歐米青年立身傳
定價五拾錢　郵税八錢

根本正君譯
歐米女子立身傳
定價四拾錢　郵税八錢

島田三郎君演説
酒禍の實驗
定價五錢　郵税二錢

渡邊房吉譯
青春の危機
定價卅五錢　郵税六錢

ダブルユー、ゼー、キャラハレ譯
日曜學校教師
定價卅五錢　郵税六錢

アグチス、コーツ、櫻井成明君合譯
日曜學校教授法
定價參拾錢　郵税四錢

田中達君譯
人の運命
定價貳拾錢　郵税四錢

本多庸一先生
説教集
定價六十錢　郵税六錢

山田寅之助先生
説教集
定價五十錢　郵税六錢

市俄古大學教授バートン、マスユース共著
大宮季貞、海老澤亮兩君共譯
◎日曜學校之原理及理想
紙表紙金三十五錢　郵税四錢
クロース金五十錢　郵税六錢

近世の心理學と教育學とに基きたる高尚にして、しかも實際的の良書なり

東京市京橋區銀座四丁目一番地
内外書肆　**教文館**
電話新橋二五二六番
振替貯金一一三五七

月錄御入用の御方は郵券四錢を添御申込あれ

牧野虎次君著

舊新約全書總論

五百五十七頁余
上製一圓九十錢
並製一圓二十五錢
小包料十二錢

舊新約全書を通して六十六卷、その年代は上下一千余年に亙り、その出處は亞細亞、亞非利加、欧羅巴の三大陸に及び、その記者は幾十百人を以て算す、し、而も收めて一冊とすれば、一卷の聖書は前後相享け、脉絡相通じ、敢て寸毫も亂るゝ處なし、これ實に一大奇跡に非ずや、この一大奇跡に接して、其深遠なる意義を闡くは、區々たる字句的註釋の企て及ぶ所に非ず、其年代を究め、其出處を匡し、其記者を尋ぬる、聖書總論の要、こゝに於てかあり著者茲に鑑みる所ありて斯著あり其内容如何は敢て讀者の鑑識を請はん

松村介石先生新著

不朽の道

定價五十五錢
郵税六錢

今や日本は**無宗教**國となり日本國民は無牧の民となりぬ其**結果動物慾**に清名を與へ我利心に主義を附し**惡魔の福音**到處に歡迎せらる松村先生發憤措からず即ち**萬古不朽**の道を提げて此民を警醒せんとす於此乎御書出づ

座古愛子著

前篇

伏屋の曙

定價四十錢
郵税六錢

●萬朝報曰く　著者生れて薄命父を知らず母を亡ひ、貧に逐はれて萍移蓬轉、幾度か虎口を逃れて僅かに其節操を保ちしも、病膏肓に入りて起つこと能はず、妙齢の身を病蓐に呻吟すること數年、漸く基督教徒の慰安を受けて神を知り、靈界頓に光明を加ふるに至り、指のみの動くを幸に病中に認めたる其半生の哀史は即ち是れ、題は「影暗くいぶせき賤が伏屋にも恵の光照す曙」てふ自作の歌に取る、其文未だ世を驚すの値なしと雖も、亦流麗にしてイヤミなく、彫琢を加へざる處却て其眞を見るに足る、卅篇の韻文、四百四十二首の和歌、三十四句の俳句、多くは斯の病才媛が神を讃美せる蓐中の聲にして、誦すべきもの少なからず、病紅葉、病子規、病兆民、病專齋、病梁川等に加ふるに今又斯の病才媛を以てす、天何ぞ才人に禍すること爾かく多き。

同

續編

伏屋の曙

定價五十錢
郵税六錢

○本日より發賣

發兌

東京市京橋區尾張町二丁目

警醒社書店

（振替貯金口座五五三一）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行